

海釣り仕掛け 大全

134 種の仕掛け作りを完全網羅した最強のバイブル



海釣り仕掛け大全

CONTENTS

仕掛けの作り方がよく理解できれば、釣りはもっと楽しくなる。…………… 4

仕掛けの基本 7パターン …………… 6

PART1 マスターしたい最強結び 17 選

13

ライン結びの極意 …………… 14

接続具とラインの結び 8 の字結び クリンチノット ユニノット 簡単結び …………… 16

ハリとラインの結び 内掛け結び 最強結び …………… 20

ラインとラインの結び エイトノット サージャンノット …………… 22

リーダーとラインの結び 電車結び スプライスノット ビミニツイスト 正海ノット …………… 24

その他の結び チチワ結び ウキ留め結び 編み付け結び 枝ハリスの結び フリーノット …… 28

PART2 仕掛けのパーツを知る

33

ライン ナイロン、フロロ、PEライン……。適材適所の使い分けをマスターしよう! …………… 34

ハリ ターゲットに合わせて使い分けたいが、万能に使えるハリも知っておこう! …………… 36

ウキ 種類はいっぱいあるが、まずは自分が使いやすいウキを選ぶことが大切だ …………… 38

オモリ 仕掛けの操作性は、オモリで決まる。その選び方は奥が深いのだ …………… 40

小物類 ささまざまな小物類を使いこなせれば、仕掛け作りはもっと楽しくなる! …………… 42

ルアー バリエーションは多いが、実際に活用するルアーは数種類だけなのだ! …………… 44

ツール 楽しく仕掛けを作るために、快適に使えるツールもそろえておきたい …………… 46

PART3 海釣りの仕掛け 134 選

49

アイゴ ◆ 遊動ウキ ノベ竿ウキ …………… 50

アイナメ ◆ ブラクリ 投げ釣り ヘチ釣り ルアー …………… 52

アオリイカ ◆ エギ ヤエン 泳がせ シャクリ …………… 56

アカイカ・マルイカ ◆ エギ スッテ …………… 60

アジ ◆ サビキ ウキサビキ 高感度ウキ カゴ釣り ウキフカセ ルアー 沖サビキ ビシ釣り …………… 62

アナゴ ◆ 投げ釣り 沖釣り …………… 70

イイダコ ◆ テンヤ 投げテンヤ …………… 72

イサキ ◆ カゴ釣り ウイリー …………… 74

イシダイ・イシガキダイ ◆ 捨てオモリ …………… 76

イシモチ ◆ 投げ釣り ボート ルアー …………… 78

イナダ・ワカシ ◆ 弓ヅノ ルアー カゴ釣り 沖釣り …………… 81

イワシ・サツパ ◆ サビキ トリック …………… 84

ウミタナゴ ◆ シモリ …………… 86

オヤビツチャ ◆ ウキ釣り …………… 88

カサゴ ◆ 穴釣り 沖釣り …………… 90

カマス ◆ ルアー 投げサビキ …………… 92

カラフトマス ◆ ルアー ウキ釣り …………… 94



カレイ ◆ 投げ釣り 沖釣り …………… 96

カワハギ ◆ 沖釣り 投げ釣り ミャク釣り …………… 98

カンパチ ◆ 泳がせ カッタクリ ジギング …………… 101

キンメダイ ◆ 沖釣り …………… 104

クロダイ ◆ ウキ釣り ダンゴ釣り フカセ釣り ヘチ釣り 前打ち カカリ釣り …………… 106

サケ ◆ 投げ釣り ルアー …………… 112

サバ ◆ ウキサビキ ルアー …………… 114

サヨリ ◆ カゴ釣り シモリ …………… 116

シイラ ◆ ルアー …………… 119

シマアジ ◆ カゴ釣り 沖釣り …………… 120

ショウサイフグ ◆ 食わせ カットウ …………… 122

シリヤケイカ ◆ スッテ …………… 124

シロギス ◆ 投げ釣り チョイ投げ 沖釣り …………… 126

スズキ ◆ ルアー 泳がせ ジギング …………… 130

スミイカ ◆ エギ テンヤ …………… 134

スルメイカ ◆ エギ ブラヅノ …………… 136

ソウダガツオ ◆ ウキサビキ 弓ヅノ …………… 138

タチウオ ◆ 沖釣り ジギング …………… 140

ハゼ ◆ ウキ釣り フカセ釣り ミャク釣り チョイ投げ …………… 142

ハナダイ ◆ 胴付き ウイリー …………… 146

ヒラマサ ◆ カゴ釣り ジギング ビシ釣り …………… 148

ヒラメ ◆ ルアー 沖釣り …………… 152

ブダイ ◆ ノリブダイ 軽量ウキ …………… 154

ペラ ◆ ウキ釣り …………… 156

ボラ ◆ 遊動ウキ …………… 157

マゴチ ◆ ルアー 沖釣り …………… 158

マダイ ◆ 投げ釣り カゴ釣り ビシ釣り シャクリ …………… 160

マダコ ◆ テンヤ …………… 164

ムラソイ ◆ ルアー …………… 165

メジナ ◆ ノベ竿ウキ ウキフカセ 水中ウキ 2 段ウキ 全遊動 …………… 166

メッキ ◆ ルアー …………… 171

メバル ◆ フカセ釣り ルアー ウキ釣り 沖釣り …………… 172

ヤリイカ ◆ ブラヅノ …………… 175

ワタリガニ ◆ カニ網 …………… 176

ワラサ・ブリ ◆ ビシ釣り ジギング …………… 177

仕掛け作りの用語集 …………… 180

知っておきたい仕掛け作りの単位換算表 …………… 188

“仕掛け作り”という奥深き世界 あとがきにかえて …………… 189



COLUMN

知ってお得なミニ Q&A ① …………… 48
知ってお得なミニ Q&A ② …………… 89
知ってお得なミニ Q&A ③ …………… 125
知ってお得なミニ Q&A ④ …………… 151
知ってお得なミニ Q&A ⑤ …………… 179

仕掛けの作り方が よく理解できれば、 釣りは もっと楽しくなる。

釣りに歴史がある……。

そしてまた、釣りの仕掛けにも

古今東西、数多くの賢者たちの知恵が凝縮されている。

釣り人自身が工夫したもの、

職漁師のワザを巧みに取り込んだもの、

あるいは、船宿や釣具店のオリジナル仕掛けもあるだろう。

幾多もの試行錯誤が繰り返され、

膨大な種類の仕掛けが考案されてきた……。

しかし、どんな仕掛けであろうとも、その基本的なシステムは、

つぎのページから紹介している 7 つの仕掛けに集約される。

それらのベーシックな仕掛けの構成とともに、

PART1 と PART2 の基礎知識を得ることによって、

本編の仕掛け 134 選が、よりわかりやすくなる構成にした。

仕掛けのシステムや作り方をディープに理解できれば、

釣りという趣味は、さらに楽しくなることは間違いない。

本書が、そんな仕掛け作りのヒントになれば幸いである。

防波堤や小磯の釣りでは欠かせない、ビギナー御用達仕掛け

ウキ釣り仕掛け

あらゆる仕掛けのベースとも言えるのが、ウキ釣り仕掛けだ。なかでもビギナーに一番使いやすいのが、この固定式のウキ仕掛け。シンプルなので簡単に作ることができて、実際の操作もじつにやりやすい。防波堤や小磯などからの小物狙いでは、必携の仕掛けといえるだろう。この仕掛けでカギになるのは、ウキの浮力調整。ウキのボディが水面ギリギリに浮くようにすることで、仕掛けの感度は格段に向上するのだ。

主な対象魚

メジナ
メバル
アジ
サバ
ウミタナゴ
サヨリ
ベラ
アイゴ
ハゼ

FLOAT-RIG SYSTEM

【ミチイト】
おもに 0.8 ~ 1.5 号のナイロンラインを使用する。竿先には、チチワ結び (28 ページ) で結節する

【ウキ】
ウキ釣り仕掛けの主要パーツ。状況に応じて、玉ウキや発泡ウキ、トウガラシウキ、シモリウキなどを使い分ける

【ゴム管】
固定式ウキ仕掛けの場合は、ウキの脚をゴム管で固定する。ウキ下を変えるときは、ここをつまんでミチイトを上下させれば OK だ

【サルカン】
ミチイトとハリスを接続するためのパーツ。サルカンによって仕掛けのヨレが解消され、ハリスの交換もスピーディに行える

【オモリ】
ウキの浮力を調整する必須パーツ。この仕掛けの完成度は、オモリの使い方次第といっても過言じゃない。板オモリやガン玉などの種類がある

【ハリ&ハリス】
小物釣りでは、細軸でアフセの利きやすい袖バリを使うことが多い。最初は、市販のハリス付きを使えば手間いらずだ

広範囲のポイントを狙うことができ、ターゲットも豊富なのが魅力

投げ釣り仕掛け

広々とした海岸で、ダイナミックなキャストで楽しむ投げ釣りは爽快そのものだ。人気ターゲットのシロギスやカレイをはじめとして、狙える魚種が豊富なことも魅力。投げ釣り仕掛けは、エサを自然な状態で漂わせるために、ハリスを長めにしてやるのがポイント。逆に枝ハリスは短めにすることで、ライン絡みを防いでやる。ファミリーフィッシングでは、より手軽に楽しめる“チョイ投げ仕掛け”もオススメだ。

主な対象魚

シロギス
カレイ
イシモチ
アイナメ
アナゴ
カワハギ
ブダイ
ハゼ
スズキ
マダイ
ワタリガニ

CASTING-RIG SYSTEM

【チカライト】
仕掛けをフルキャストしたときに、ラインにかかる大きな荷重のクッションの役割を果たしてくれる。結節方法は、編み付け電車結び (126 ページ) が安心だ

【スナップサルカン】
ラインのヨレを緩和するためのパーツ。テンビンオモリを使う場合は、スナップ付きが便利だ

【テンビンオモリ】
投げ釣りでは、仕掛け絡みを防ぐためにテンビン付きオモリを多用する。L 型テンビンやジェットテンビンなどの種類がある

【ハリ】
投げ釣りではアフセが利きにくいいため、フトコロが狭くて吸い込みのいい形状のハリを使用することが多い

【ハリス】
1 ~ 1.5 m と長めにする (チョイ投げでは 30 cm 前後)。枝ハリスは 5 cm 程度にしてイト絡みを防ぐ

海釣り公園や堤防でのファミリーフィッシングならコレ!

サビキ仕掛け

ファミリーやカップルで手軽に釣りを楽しむなら、この仕掛けがオススメだ。アジやイワシ、サッパなどの群れが寄ってくれば、爆釣を楽しめる。タックルは、浅場狙いなら溪流竿でOK。逆に、足場が高い海釣り公園や水深のある堤防などでは、リールを使ったタックルが使いやすい。ハリのサイズを大きくして、太めのハリスを使ったものなら、イナダやソウダガツオなどの回遊魚も狙える。

主な対象魚

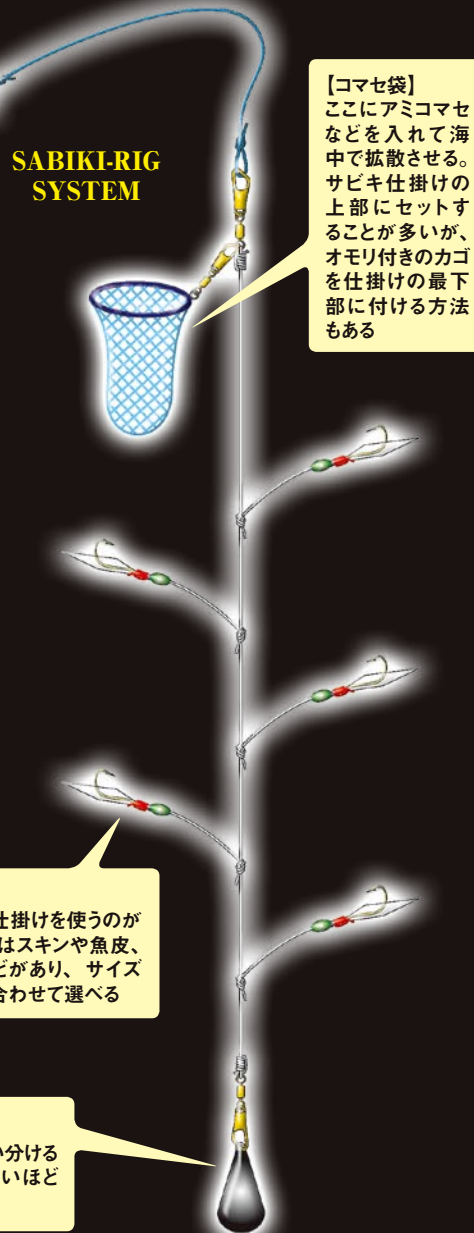
アジ
イワシ
サッパ
サバ
カマス
メバル
イナダ
ソウダガツオ

SABIKI-RIG SYSTEM

【コマセ袋】
ここにアミコマセなどを入れて海中で拡散させる。サビキ仕掛けの上部にセットすることが多いが、オモリ付きのカゴを仕掛けの最下部に付ける方法もある

【サビキバリ】
市販のサビキ仕掛けを使うのがお手軽。種類はスキンや魚皮、フラッシュャーなどがあり、サイズもターゲットに合わせて選べる

【オモリ】
水深に合わせて使い分けるが、基本的には軽いほど魚の食いはよくなる



ウキ釣りに革命をもたらした、あらゆるタナを狙えるシステム

遊動ウキ仕掛け

主にクロダイやメジナ狙いで使われる仕掛けで、海面に投入したときにウキがミチイトをスルスルと遊動し、ウキ留めに達するとそれ以上は下降しないシステムだ。この仕掛けの登場によって、あらゆる水深を探ることが可能になった。ウキは、左の“円錐ウキ”と右の“棒ウキ”が代表格。前者は流れやうねりのあるポイントで、後者は波静かなエリアで使いやすい。

主な対象魚

クロダイ
メジナ
メバル
アイゴ
アジ
ボラ

MOVABLE-FLOAT SYSTEM

【シモリ玉】
ウキ留めとともにウキのストッパーとなる

【ウキ留め】
ウキのストッパーの役目を果たし、ここがウキ下の上限となる

【ウキ】
状況や好みで、円錐ウキと棒ウキを使い分ける

【ゴム管】
フリーの状態でクッションにしたり、ヨウジで固定してストッパーとする

【オモリ】
ウキの浮力に適合した重さのガン玉を使用する

【ハリス】
根ズレに強いフロロカーボンがオススメ。1.5～3mと長めにすることで、エサの自然な動きを演出できる

【ハリ】
主に、チヌバリやグレバリといった吸い込みのいい丸型のハリを使用



遠くのポイントをダイレクトに狙える超合理的リグ

カゴ釣り仕掛け

カゴ釣りは、コマセカゴにオキアミやアミエビを詰めて、狙ったポイントにダイレクトにコマセを効かせて魚を寄せる、きわめて合理的な釣りだ。いろいろなシステムが考案されているが、浮力のある大型発泡ウキと、イト絡みを防ぐためにテンビンとセットになったコマセカゴを組み合わせたのが基本。ハリはシンプルな1本バリがトラブルも少なくなるが、ターゲットによってはサビキバリも使用する。

主な対象魚

イナダ
ソウダガツオ
アジ
サバ
シマアジ
マダイ
イサキ
メジナ
サヨリ

BAIT-BASKET SYSTEM

【ゴム管】
ウキの下側に装着する
ストッパー兼クッション

【ウキ留め&シモリ玉】
遊動ウキ仕掛け同様に、ウキのストッパーの役目を果たしてくれる

【カゴウキ】
大型の発泡ウキ。中通しの円錐ウキタイプのほか、環付きの棒ウキタイプがある。3～8号がサイズの目安

【コマセカゴ】
ここにコマセを充填して、海中で拡散させる。テンビンやオモリを装着したタイプが、手軽に使えてライン絡みも少なくなるのでオススメだ

【ハリ】
吸い込みのいい丸型のハリが使われる。大物狙いでは太軸のものがオススメ。回遊魚狙いではサビキバリも使われる

【ハリス】
潮なじみのいいフロロカーボン製が多用される。1～3mと長めにすることで、エサの自然な動きを演出できる

大海原でタイや回遊魚たちとのファイトを楽しむための頑丈仕掛け

沖釣り仕掛け

マダイや大型回遊魚をはじめとして、岸釣りではなかなかお目にかかれないような魚を狙るのが沖釣りの魅力だ。しかし、重量のある仕掛けで深場を探る釣りなので、仕掛けの結節方法やパーツ類の強度などには入念なチェックが必要になる。PEラインを使用する場合や大物を狙うときには、編み込みなどによる結び目の補強も不可欠な技術だ。

主な対象魚

マダイ
イサキ
イナダ・ブリ
カンパチ
ヒラマサ
アジ
ヒラメ
カワハギ
メバル
キンメダイ
イカ類

BOAT-FISHING SYSTEM

【スナップサルカン】
ラインのヨレ防止とテンビンの交換を容易にするためのパーツ。必要に応じて結び目を補強する

【テンビン】
海中での仕掛け絡みを防ぐための必須パーツ。長いアームがクッションとしての役目も果たす

【コマセカゴ】
コマセを使う仕掛けでの必須パーツで、ポリカーボネート製やステンレス製などがある。オモリを内蔵したものは、ピシカゴと呼ばれる

【クッションゴム】
魚がハリ掛かりしたときに大きく伸縮し、仕掛けにかかる大きな負担を軽減してくれるパーツだ

【ハリ】
吸い込みのいい丸型のハリが使われる。大型魚狙いでは、結び目を補強すること多い

【ハリス】
沖釣りではダイレクトな仕掛けの操作が難しいため、ハリスを長くすることでエサの自然な動きを演出する

仕掛けの基本7パターン

細いラインで大物をゲットするためのラインシステムが重要

ルアー仕掛け

ルアーフィッシングは、海釣りでもっとも人気のあるジャンルのひとつ。狙える魚種が豊富で、仕掛け作りもライン先端にルアーをセットするだけで、超お手軽だ。しかし、この釣りを追究していくと、その奥は限りなく深い。とくに重要なのが“ラインシステム”。ルアーフィッシングでは操作性を重視して細いメインラインを使用するため、その先端にショックリーダーを結節するのが基本なのだ。

主な対象魚

スズキ
ヒラメ
メバル
ソウダガツオ
イナダ
ヒラマサ
ワラサ
タチウオ
メッキ
ムラソイ
カラフトマス
サケ
アジ
アオリイカ
スミイカ

LURE-FISHING SYSTEM

【メインライン】

軽量のルアーを遠投したり、操作性を向上させるため、メインラインはできる範囲で細くするのが理想だ。基本はナイロンラインだが、細くても強度に優れるPEラインを使うことも多い

【ラインシステム】

メインラインとショックリーダーとの結節では、ライン強度を損なわないことが大切。そのため、メインライン先端をダブルにするラインシステムや摩擦系のノットなどが活用されている

【ショックリーダー】

メバルやメッキなどの小型相手では必要ないが、大型魚を狙う場合には必須。通常、メインラインの2～4倍の強度のものを使用する

【ルアー】

ターゲットに合わせて、プラグ、メタルジグ、ソフトルアー、エギなどを使い分ける。ラインとの結節は、フリーノットか小型スナップを利用する